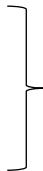


「聞く②」

【ねらい】

- 聞くために注目しよう
- 聞きながら書こう
- 聞きのがさないように注意を続けよう



児童の実態に則したねらいを設定して、指導を行います。

【学習の流れ】

1. 課題とめあての確認をする。
2. 聞くときのコツや大切さを考える。

「聞く時には、初めに注目していないといけないんだな。」
「聞きながら書くのは難しいけど、クラスではよくそういうことがあるな。」
「聞き逃さないためには、相手に注目することを続けることが必要なんだ。」
「聞き逃してしまったときには、どう言つたらいいんだろう。」

3. 聞く活動を行う。
 - ・ステレオゲーム
 - ・スリーヒントクイズ
 - ・王様の命令
 - ・話が長い王様の命令
 - ・宝探しゲーム
 - ・王子のアイス塗り絵
 - ・足し引きbingo
 - ・言葉bingoなど
※上の活動の中から、児童の実態に応じて教員が選択して行ったり、内容を変更して行ったりしていきます。
4. 振り返りをする。
 - ①活動の感想を発表する。
 - ②今日学んだことを、クラスでどのように活かせるかを考え発表する。

担任の先生・保護者の皆様へ

今週の小集団活動では、今年度2回目の「聞く」学習を行いました。聞くだけではなく、聞きながら書く活動も、実態に応じて取り入れました。

学校生活の中で、聞きながら書くことはたくさんあります。先生の話を聞きながらノートに書いたり、友達の答えを聞いて丸を付けたり、社会科見学で話を聞きながらメモを取ったり、などです。話し言葉は見えないので、聞きながら書いていると聞き逃して分からなくなってしまうことがあります。聞き逃さないために注目を続ける練習も必要ですし、聞き逃してしまったらどんな言葉を使って聞き返したらよいのかも必要な学習です。集中が必要な活動でも、苦手意識が少なくなるよう、楽しい活動を心掛けました。

聞く力を身に付けることは大切な学習ですので、今後も、小集団や個別指導の様々な場面で意識付けていきます。